

## 第27期第9回常任理事会議事録

日時：1993年8月3日 13時30分～16時15分

場所：気象庁内日本気象学会事務室

出席者：浅井、竹内、岩崎、大西、小倉、木田、関口、  
中井、中村、新田、藤谷、村上 以上12名

### 議事

1. 第27期第8回常任理事会議事録の確認  
一部修正のうえ承認。

2. 各委員会からの報告及び審議

庶務…後援名義等使用許可1件。7月13日に役員選出に関する定款の一部改正許可申請を文部大臣に提出。

TRMM アルゴリズム開発に関するリモートセンシング技術センターとの契約は8月下旬に完了見込み。予算実行は8月下旬から。

日本天文学会からの申し入れにしたがい、学会運営上の諸問題について同学会との協議を7月23日に実施。気象学会のパソコンを用いた事務処理システム等について天文学会の参考になった模様。

会計…1993年6月の収支決算を報告。予算執行は収入・支出とも順調。研究ノートの発行に伴う支出が年度当初にあり、これに関する収入は年末となるため、それまでの期間の資金繰りが窮屈になるおそれがある。

天気…8月号の内容及び9、10月号の予定を報告。

8月号で項目別総目次、年度内に著者別総目次を発行予定。IAMAPの報告も数回に分けて掲載するよう準備を進めている。

気象集誌…編集委員に永田雅会員を加えることを承認。

ELSEVIER社から集誌の刊行を請け負いたいの申し入れがあった件については、編集委員会で先方と接触を持ち、編集委員会としての意見を付けて常任理事会に報告することとする。

教育と普及…8月4日からつくばで夏季大学開催予定。会場の大きさから96名の申し込みで打ち切った。

一般フォーラム(横浜)は宣伝期間が十分でなかった等の理由で参加者が当初予定を下回った。今回の経験を今後に生かしたい。

国際学术交流…7月30日に委員会を開催し、3件3

名の参加費援助を決定。1件を却下。1994年秋季大会のシンポジウムへの外国参加者に対する援助金支出については、規定上問題がないので申請が出れば承認する方向で対応することを委員会として決定。

IAMAP…最終参加者は1088名(うちIAMAP関係は634)。目標の千人を上回った。決算は現在集計中であるが、ほぼ収支均衡と思われる。途上国からの参加者に対する援助については、49名を承認し、実際に39名の参加があった。

パソコン通信…6月の着信件数270件。ハード・ディスクの故障修理は業者側の事情で遅れている。

3. 会員の新規加入等について

個人13名の入会を承認。個人1名と1団体の退会を報告。

4. 1993年度山本・正野論文賞及び奨励金候補者に対する投票結果について

山本・正野論文賞候補

沼口敦(国立環境研)、牛丸眞司(沼津高専)の両候補とも全理事27名中26名の投票があり、このうち、有効投票数の3分の2以上が可としたことにより承認された。

奨励金候補

木俣昌久(静岡地方気象台)、吉田洋一(仙台航空測候所)、下畑五夫(岐阜県教育センター)、植田隆(奈良県山添中学)、古川善朗(品川区立源氏前小学校)の5候補とも全理事27名中26名の投票があり、このうち、有効投票数の3分の2以上が可としたことにより承認された。

5. 堀内基金奨励賞候補者の推薦について

7月22日に委員会を開催し2件の推薦を決定したとの報告を受け、常任理事会で審議。ここで出された若干の修正上の意見を考慮して、最終的な推薦理由書を担当理事が作成し、全理事の投票にかけることとする。

6. 新役員選任制度の具体化とその準備について

来年の春季大会総会で新役員を選任する必要がある。早急に選出手順を具体化する必要がある。総合計画担当および庶務担当理事で原案を作成し、次回常任理事会に提案する。

7. 定款の改正に対する会員からの『天気』投稿に対する回答について  
前回常任理事会で次回送りとなった総合計画担当理事名の案文について審議、修正意見を取り入れたうえ、『天気』に投稿することとした。

8. 1994年および1995年春季大会について  
1994年春季大会については、会場となる「御茶の水スクエア」との間で正式契約を行う予定。半額程度の予約金を支出する。  
1995年春季大会の担当は、東京管区気象台を主担当とし、気象庁海洋気象部が副担当として大会の運営にあたることを承認。